



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月10日

上場会社名 株式会社クリーマ 上場取引所 東
コード番号 4017 URL <https://www.creema.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸林 耕太郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート (氏名) 伊藤 彩紀 TEL 03(6447)0105
ディビジョンGM
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	615	△4.5	23	32.3	24	32.2	10	△56.7
2025年2月期第1四半期	644	2.2	17	26.8	18	△44.4	23	△0.5

（注）包括利益 2026年2月期第1四半期 9百万円（△58.7％） 2025年2月期第1四半期 23百万円（△0.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	1.54	—
2025年2月期第1四半期	3.55	3.54

（注）2026年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	3,720	1,115	30.0
2025年2月期	3,366	1,105	32.8

（参考）自己資本 2026年2月期第1四半期 1,114百万円 2025年2月期 1,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期	—	—	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点において、2026年2月期の配当予想額は未定であります。

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 2,755	% 9.9	百万円 100	% △3.0	百万円 99	% △4.7	百万円 66	% △35.4	円 銭 9.88

- （注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2025年2月28日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。
3. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期1Q	6,740,100株	2025年2月期	6,740,100株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	43株	2025年2月期	43株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期1Q	6,740,057株	2025年2月期1Q	6,733,763株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2025年7月10日（木）にSBI証券のウェブサイトで機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの説明会をライブ配信で開催し、決算補足説明資料を当社のウェブサイトに公開します。

また、決算補足説明資料を日本取引所グループウェブサイト上の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書.....	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書.....	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(収益認識関係)	7
(1株当たり情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当社グループは、「まるくて大きな時代をつくろう」という企業理念のもと、クリエイターエンパワーメント事業を展開しています。日本ならびに中国語圏におけるグローバルハンドメイドマーケットプレイス「Creema(クリーマ)」に加え、同サービスと連携可能な唯一のネットショップ開設サービス「InFRAME」の運営を行うマーケットプレイスサービス、「Creema」のプラットフォームを活用し、出店クリエイター・企業・地方公共団体のマーケティング支援を行うプラットフォームサービス、日本最大級のクリエイターの祭典「HandMade In Japan Fes' (東京ビッグサイト)」などの大型イベントを展開するイベントサービス、さらには、クリエイターの創造的な活動を応援することに特化したクラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」、人気アーティストのレッスン動画プラットフォーム「FANTIST」など、クリエイターの活動を支援するサービスを様々な角度から展開し、クリーマ経済圏の確立と、クラフトカルチャーの発展に取り組んでいます。

マーケットプレイスサービスにおいては、母の日をはじめとした季節ごとのトレンドを捉えた各種マーチャングライディング施策を実施するとともに、YouTubeやInstagramなどの動画メディアの活用を強化し、クリエイター作品の魅力を訴求することで新規顧客の獲得を進めました。あわせて、SEO対策の強化やアプリ内検索画面のUI改善、プッシュ通知機能のアップデート等に取り組んだほか、インフラ基盤の整備や、今期中にリリースを予定しているギフト関連機能をはじめとする新たな収益源となる各種機能開発も推進しました。一方で、Web広告市場における単価高騰に加え、前期(2025年2月期)に発生した当社ドメイン名を悪用した「なりすましメール」の横行による影響が長期化したほか、法令対応として導入した3Dセキュア2.0もユーザー行動に一定の影響を与えました。その結果、当該期間におけるマーケットプレイスサービスの流通総額は39.1億円(前年同期比97%)、売上高は389,325千円(前年同期比96%)となり、前期実績をわずかに下回る結果となりました。なお、当第1四半期連結累計期間においては、クリエイター数が約30万人、登録作品数が約2,017万点、スマートフォンアプリの累計ダウンロード数が約1,565万回を突破するなど、主要KPIは引き続き堅調に推移しています。

プラットフォームサービスでは、「Creema」のプラットフォームとユーザー基盤を活用し、企業・地方公共団体向けのPR支援を展開する外部広告にて、地方自治体と連携した伝統工芸品・地域製品の販路開拓支援プロジェクトや、大手商業施設とのコラボイベントなど、当社ならではのPR企画を提案・実施しました。また、クリエイターが「Creema」上で自身の作品をプロモーションできる内部広告においては、利用促進を目的としたプロダクト改善や各種キャンペーンを推進しました。その結果、プラットフォームサービスの売上高は184,086千円(前年同期比104%)となりました。

イベントサービスにおいては、前年同時期に開催していた「Creema YAMABIKO FES」を今期は開催見送りとしたため、当該期間の売上は、2025年1月18日・19日に開催した「HandMade In Japan Fes'」に関連する売上の一部にとどまり、売上高は600千円(前年同期比2%)となりました。

新サービス群では、クリエイターやものづくり事業者の創造的活動を支援する「Creema SPRINGS」において、多様なプロジェクトが引き続き起案され、その多くが目標支援金額を達成しました。また、「FANTIST」では、クリエイターが制作・販売するレッスン動画に加え、自社開発の公式コースレッスンの拡充が順調に進み、レッスン動画数は同領域において国内最大級の規模に拡大しました。その結果、新サービス群の売上高は41,006千円(前年同期比144%)と大幅な成長を記録しています。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は615,018千円(前年同期比95%)となり、前年実績を下回る結果となりました。ただし、今期は「Creema YAMABIKO FES」の開催を見送った影響があるため、これを除けば、前年比101%の成長となり、少しずつ成長軌道への回帰が見られている状況です。また、新サービス群やプロダクト開発等への成長投資を継続・拡大しながらも、営業利益は23,514千円(前年同期比132%)、経常利益は24,623千円(前年同期比132%)と、大幅な増益を確保しました。当期純利益は10,372千円(前年同期比43%)となり、前年実績を下回りましたが、これは繰延税金資産の一時的な取り崩しによる影響であり、計画比では順調に推移しています。

なお、当社グループはクリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントで事業を展開しているため、セグメント情報に関連した記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、3,720,315千円となり、前連結会計年度末に比べ353,574千円増加いたしました。主な増減要因は、現金及び預金が266,349千円、売掛金が74,872千円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,604,991千円となり、前連結会計年度末に比べ343,686千円増加いたしました。主な増減要因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が250,367千円、預り金が62,250千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,115,324千円となり、前連結会計年度末に比べ9,888千円増加いたしました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益10,372千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想については、2025年4月10日の「2025年2月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,440,590	2,706,940
売掛金	610,822	685,694
その他	25,285	54,459
流動資産合計	3,076,699	3,447,093
固定資産		
有形固定資産	19,295	18,623
無形固定資産	77,154	73,031
投資その他の資産	193,591	181,567
固定資産合計	290,041	273,221
資産合計	3,366,740	3,720,315
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	140,364	232,296
未払金	117,267	131,968
未払費用	73,805	58,301
未払法人税等	12,571	8,690
前受金	75,789	101,306
預り金	1,576,122	1,638,373
賞与引当金	-	11,974
ポイント引当金	13,083	12,720
その他	67,159	65,784
流動負債合計	2,076,162	2,261,414
固定負債		
長期借入金	185,142	343,577
固定負債合計	185,142	343,577
負債合計	2,261,304	2,604,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	541,428	541,428
資本剰余金	1,962,548	1,962,548
利益剰余金	△1,398,724	△1,388,352
自己株式	△228	△228
株主資本合計	1,105,024	1,115,397
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△211	△696
その他の包括利益累計額合計	△211	△696
新株予約権	622	622
純資産合計	1,105,436	1,115,324
負債純資産合計	3,366,740	3,720,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年5月31日)
売上高	644,328	615,018
売上原価	162,291	115,000
売上総利益	482,037	500,018
販売費及び一般管理費	464,262	476,503
営業利益	17,775	23,514
営業外収益		
受取利息	12	216
為替差益	140	446
預り金精算益	2,047	2,077
その他	39	131
営業外収益合計	2,240	2,872
営業外費用		
支払利息	1,393	1,763
その他	3	-
営業外費用合計	1,396	1,763
経常利益	18,619	24,623
税金等調整前四半期純利益	18,619	24,623
法人税、住民税及び事業税	572	3,443
法人税等調整額	△5,886	10,806
法人税等合計	△5,313	14,250
四半期純利益	23,933	10,372
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,933	10,372

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	23,933	10,372
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	32	△484
その他の包括利益合計	32	△484
四半期包括利益	23,965	9,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,965	9,888
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	9,654千円	9,568千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）

当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）

(単位：千円)

	金額
マーケットプレイスサービス	403,906
プラットフォームサービス	176,463
イベントサービス	35,390
その他	28,568
合計	644,328

当第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

(単位：千円)

	金額
マーケットプレイスサービス	389,325
プラットフォームサービス	184,086
イベントサービス	600
その他	41,006
合計	615,018

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年 3月 1日 至 2024年 5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年 3月 1日 至 2025年 5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	3.55円	1.54円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	23,933	10,372
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	23,933	10,372
普通株式の期中平均株式数(株)	6,733,763	6,740,057
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	3.54円	—円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	33,855	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜 在株式で、前連結会計年度から重要な変動があ ったものの概要	2020年2月26日取締役会決議 第12回新株予約権 新株予約権の数 44個 (普通株式 44,000株) 2020年2月26日取締役会決議 第13回新株予約権 新株予約権の数 17個 (普通株式 17,000株)	2016年2月24日取締役会決議 第5回新株予約権 新株予約権の数 13個 (普通株式 13,000株)

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。